

## 共に挑む

半田市長 久世孝宏

市民の皆さま、こんにちは!

このコーナーでは、私自身の想いや考えを交えながら、3~4ヶ月に1度くらいのペースで市政のトピックスをお伝えしていきます。



## タイトルへの思い

本年度から始まった第7次総合計画に掲げられた、将来都市像「人がまちを育み まちが人を育む チャレンジあふれる都市・はんだ」は、私が議員時代から感じていた、正に半田市のこれからあるべき姿です。

人の価値観や社会環境が早く、大きく変わる今、半田市をさらに素晴らしいまちにして子どもたちに繋いでいくためには、今までのやり方・考え方を積極的に変えるなど変革が必要であり、そのためには失敗を恐れないチャレンジ精神が必要です。

そして、私は、半田市に関わる全ての皆さまと一緒にチャレンジをしていきたい。

ともに学び、挑戦し、成長をし、そんな人が溢れるまちになり、またそのまちに関わる人が成長する。そんな好循環を目指し、オール半田でチャレンジをして、自分たちのまちを、さらにさらに素晴らしいまちにしていきたいと思います!

## コロナ禍において ~やれることを常に考え全力を尽くす~

この原稿を書いている今は、第5波の真っただ中であります。

多くの皆さまから、情報の提供や、自宅療養者への対応などを求められます。しかしながら、新型コロナウイルス感染症は、法律によって厳格に国・県・市の役割が定められ、医療資源の調整は県の役割とするなど、市として、できることは限られています。市民の皆さまの不安を感じる中で、私自身、そして職員も、非常にもどかし、心苦しく感じながら、必死に業務にあたっております。「何かやれることはないか」常に考え、半田市から保健師を県へ派遣をするなど、今まで以上に県との連携を密なものにし、全力を尽くして参ります。

感染すると、軽症といえども医療資源を消費することになり、医療ひっ迫=必要な人に適切な医療が提供できなくなる恐れがあります。そうならないためにも、感染拡大を防ぐ必要があります。一人ひとりが「感染をしない・させない」意識を持ち、オール半田で取り組むことで、最大限の効果につなげていきたいと思います。市民の皆さまには、度重なるお願いで申し訳ないですが、できる限りのご協力をお願いします。

## みなさんの「声」を聞かせてください アンケート

Q1 今号でよかった内容や写真があれば教えてください。

Q2 今号を読んだことがきっかけで行動したこと、または、したいことはありましたか。

Q3 市報で取り上げてほしい内容や企画、広報に関するご意見・ご感想などありましたらお聞かせください。

## 回答方法

住所、氏名、年齢、アンケートを書いて、はがきまたはEメールでご送付ください。

## あて先

〒475-8666

東洋町2-1

企画課

Eメール

kouhou@city.handa.lg.jp



皆さんの心には何か熱い「想い」はありますか？私には、知多牛の特集を載せたい、知多牛の生産者取材するなかで、強く熱い「想い」に触れました。畜産業の課題や問題と向き合っているなかで、懸命に牛たちのお世話をしていて感動しました。消費生活に美味しさを届けたらいいな、真ついでに、暑い「想い」がひびくと伝わってききました。いつの時代もこういふ熱い「想い」を生み出した、ちが、新しいものを生み出した、かなと思えました。

（倉野）

## 編集後記